

「大切な人」を亡くした子ども/10代/若者/家族  
…みなさんとのサポート活動🦋 グリーフサポート

あなたも大事・わたしも大事

グリーフサポートの輪

NPO法人「こどもグリーフサポートふくおか」(通称:グリふく)は  
10周年を迎えます!

誰か大切な人を亡くしたとき、特に子どものグリーフは見逃されがちで、必要なサポートを受けることがないまま、その後の人生を生きていくことが、多々あります。

「グリーフサポート」の考え方や関わり方が、コミュニティ/学校など、一般にも広まっていくように、そして、「大切な人を亡くした子どもたち・ご家族みなさんに、必要なサポートが届くように!」という思いから、今回の10周年イベントを、開催します!

誰かを亡くした「あなた」も、そしてグリーフという分野や、そのサポートに関心がある皆さんも、ぜひご参加ください🌸

基調講演

「死なれて・遺されて・生きのびて…」

講師：西田正弘さん

(あしなが育英会 職員/グリふく設立の呼びかけ人)

.....

日時 2024年11月10日(日)

13時~15時(受付:12時30分~)

場所 ふくふくプラザ・1階ホール

(福岡市市民福祉プラザ \*福岡市中央区荒戸)

プログラム

- ◆ パネルディスカッション：グリふく10年の「つどい」  
西田正弘さん&グリふくメンバー(秋田寛子・實淵愛・白石恵子)
- ◆ こどもグリーフサポートふくおか(グリふく)の思い&活動報告
- ◆ 「つどい」空間の見学ツアー(司会：グリふく 内田裕子)

【託児あり(要予約)】

託児ありですが、イベント会場(ふくふくホール)にも、  
何歳のお子さんでも、一緒に参加OK!

主催：NPO法人こどもグリーフサポートふくおか

申込：https://www.grie-fuku.com/y10event

申込はコチラ







## 「グリーフ」ってなあに？

私たちは人生をとおして家族など「大切な人」を様々な理由により亡くすることがあります。このような体験により、大人だけではなく子ども達も「グリーフ」を抱えます。

「グリーフ」とは大切な人を喪失したときに、自分自身の心や体、行動に起こってくる様々な反応・変化のことです。「悲しみ」だけではなく、「愛おしいなあ、亡くなった人に会いたいなあ」というような、色々な気持ちや感覚も含まれます。

グリーフを抱えている時、同じように大切な人を亡くした子どもが集い、遊びや会話を通して自分の気持ちを表現することは、子どもたちが成長する中で、家族の死を自分なりに受け止めていき、自分の歩みを作っていく上での助けになります。そして、子どもたちは自分なりの方法で、グリーフと共に生きて行く力を持っています。

私たちは、活動の中で出会う子どもの表現（遊びや会話）を「グリーフワーク」と考え、子どもがグリーフを表現し・共有しやすくなる場所（ピア・サポートの場）を創る活動を行っています。

死別を体験した者同士がつどい、そのグリーフを遊びや会話の中で表現しお互いにシェアするピア（仲間同士の）サポートは、グリーフワークにとってとても大事です。

私たちは、子どもが安心して自分のグリーフに触れ、表現し、シェアできる安全な空間を大事に、活動を続けています。



## 会場アクセス

1階・ふくふくホール



• 福岡県福岡市中央区荒戸3丁目3番39号



主催：NPO法人こどもグリーフサポートふくおか

ホームページ：<https://www.grie-fuku.com>

問い合わせ：[info@grie-fuku.com](mailto:info@grie-fuku.com)

11/10(日) 10周年イベント申込：<https://www.grie-fuku.com/y10event>



申込はコチラ

ホームページ



Facebook



Instagram  
(インスタグラム)

